

令和 8 年熊本地震に係るボランティア派遣出発式

日時：令和 8 年 8 月 26 日（水）

10:45～10:55

場所：県庁本館入口前

保健福祉課長：

ただ今から、令和 8 年熊本地震の被災地支援活動に従事されるボランティアの皆さんの派遣出発式を開催します。

この度、19 名のボランティアの皆さんを宇城市に派遣することとなりました。濱里副知事から激励の言葉があります。

濱里副知事：

皆さん、おはようございます。

令和 8 年熊本地震の被災地支援のため、本県の災害ボランティア派遣の第一陣として出発されます 19 名の皆様に深く敬意を表するとともに、ボランティアの募集や現地との調整にご尽力いただきました愛媛県社会福祉協議会の皆様に厚く御礼を申し上げます。

ボランティアの皆様には、平成 30 年 7 月豪雨災害の際に、熊本の皆様からいただいた御支援への恩返しの思いとともに、被災地のニーズに応じた支援活動を行っていただければと思います。

被災地では、いまだ暑い日が続いており、熱中症のリスクが高い中での活動となります。どうか身の安全の確保とともに、十分な水分補給など体調管理にくれぐれも気を付けて活動いただくようお願いいたします。

皆様の被災地での活躍を期待しています。ありがとうございました。

保健福祉課長：

ありがとうございました。続いて、今回のボランティア派遣を調整いただいた愛媛県社会福祉協議会の本田会長から激励の言葉があります。

本田会長：

おはようございます。愛媛県社会福祉協議会の本田でございます。

この度の熊本地震で、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

さて、今回のボランティア派遣の募集につきましては、非常に短期間でございましたが、仕事や家庭のご予定を調整し参加していただきましたことに

対し、お礼申し上げます。また、困っている人を助けたいとの一心で、手を挙げられた皆様の熱い思いに心から敬意を表したいと思います。

今回の震災では、多くの方が大切な家族や友人、住まいや仕事などを失い、避難所での生活をはじめ、慣れない環境の中でさまざまな困難や不安を抱えながら日々を過ごされています。そのような状況だからこそ、皆様の寄り添う心と行動は、被災された方々に大きな支えとなり、復興へ向けた希望につながるものと確信しております。

終わりにになりましたが、現地では厳しい暑さが続いております。どうか体調管理には十分ご留意いただき、安全を最優先に活動していただきますようお願いいたします。皆様の活動が被災地の復旧・復興の一助となることを心より願い、激励の言葉といたします。

保健福祉課長：

ありがとうございました。それでは出発にあたりまして、今回、宇城市で活動されるボランティアの方から決意表明を行っていただきます。

ボランティア代表者：

参加者を代表して御挨拶いたします。

私は、今回熊本で被災された方々のために、少しでも力になればと思い、災害ボランティアに参加しました。現地では、被災者の気持ちに寄り添いながら、今必要とされていることに、一つひとつ丁寧に取り組んでいきたいと思います。また、暑い中での活動になりますので、参加者同士で声を掛け合い、安全第一で活動してきます。短い期間ではありますが、参加者全員で力を合わせて頑張ってきます。よろしくお願いいたします。

保健福祉課長：

ありがとうございました。それでは出発されますので、拍手でお見送りをいたします。